

# 非常災害対策計画

施設名 株式会社ニジイロ エンジョイライフつくば  
所在地 茨城県つくば市松代 1-21-8  
電話番号 029-886-7181  
F A X 029-886-7182  
メールアドレス [nijihiro.enjoylife@outlook.jp](mailto:nijihiro.enjoylife@outlook.jp)

### 1 施設の立地条件

エンジョイライフつくばの施設は周辺含め平地であり、災害危険区域には該当しない。  
施設外活動を行う時には、天候による予測が可能な災害の危険地域は、その危険があるときには活動場所としない。

### 2 災害に関する情報の入手方法

- ラジオ(ラジオつくば)
- 登録制メール(つくば市防災メール、茨城県防災メール)
- 緊急速報メール
- Twitter 等の SNS
- 広報車、消防団による広報
- 電話・FAX
- 消防団、警察、自主防災組織、近隣住民等による直接的な声掛け

### 3 災害時の連絡先及び通信手段の確認

#### (1) 自治体等の連絡先

つくば市消防本部中央消防署 029-851-1691  
つくば警察署 029-851-0110  
市(危機管理課) 029-883-1111  
県(防災・危機管理課) (危) 029-301-2879  
(防) 029-301-2885  
電気 ハルエネでんきカスタマーセンター 0570-001-296  
ガス アイ・エス・ガステム つくば支店 029-843-7788  
本社コールセンター 047-429-1234  
電話・ネット関係 ファイズホールディングス 0120-223-602  
担当者：浜里様 080-3970-4718  
協力福祉施設 FC 本部 ありがとうの花 04-7198-1178

#### (2) 職員の連絡先・連絡網

別紙参照

### (3) 利用者家族との連絡体制

#### <緊急連絡の流れ>

- ① メーリングの配信 子供たちの安否、現在の状況などを簡潔にまとめ送信する。
- ② 電話での連絡 状況の報告
- ③ 災害伝言ダイヤル【171】
  - 情報を登録する場合（職員が保護者へメッセージを残す場合）
    - ・【171】をダイヤル
    - ・音声案内に従って【1】をダイヤル  
⇒エンジョイライフつくばの電話番号【029-886-7181】をダイヤル
    - ・伝言内容を録音
  - 情報を聞きたい場合（保護者がメッセージを聞きたい場合）
    - ・【171】をダイヤル
    - ・音声案内に従って【2】をダイヤル  
⇒エンジョイライフつくばの電話番号【029-886-7181】をダイヤル
    - ・家の電話が使えない場合は公衆電話を使用する。
    - ・避難訓練時に予行練習を行う。
- ④ 携帯電話災害用伝言版（携帯電話各社から利用できる伝言板）
  - ・エンジョイライフの携帯から状況を伝言板に書き込む。  
(災害時しか利用できないので予行練習は不可能)
- ⑤ 避難先の表示  
施設を離れる場合、離れている場合は、《児童の安否、全体の状況、現在いる場所、行き先》が分かるように門に掲示を出す。

### 4 避難を開始する時期、判断基準

- 「避難準備・高齢者等避難開始」の発令で避難を開始する。ただし、発令が出されていなくても、身の危険を感じたら躊躇なく自発的に避難する。

### 5 避難場所

第一次避難場所－施設駐車場・隣ファミリーマート駐車場

第二次避難場所－松代小学校

第三次避難場所－手代木南小学校

### 6 避難経路

松代小学校－車、若しくは徒歩でファミリーマート前の通りを通り、最初の信号を右に曲がり向かう。

手代木南小学校－車、若しくは徒歩で、エンジョイライフを出て 408 号線に向かい、松代公園を通り向かう。

## 7 避難方法

徒歩、車椅子、車

## 8 災害時の人員体制、指揮系統

指揮権順位

- ① 管理者
- ② 児童発達支援管理責任者
- ③ リーダー指導員
- ④ 指導員

役割分担

- ・総指揮者→管理者
- ・通報係(110、119 等)→管理者、児発管
- ・消化係→指導員 2 名程度
- ・避難誘導・点呼→リーダー指導員、児発管
- ・非常持ち出し袋→総指揮者が指示

職員参集基準

参集体制	参集基準	対象職員
警戒参集体制	① 地域に大雨、暴風、暴風雪、洪水警報が 1 以上発表されたとき ② つくば市で震度 5 弱の地震が発生したとき	指定職員
非常参集体制	① 地域に相当規模の災害の発生が予測され、その対策を要するとき ② 地域に災害が発生し、その規模及び範囲等から早急な対策を要するとき ③ つくば市で震度 5 強以上の地震が発生したとき ④ その他、管理者が必要と認めるとき	指定職員 (その他の職員は、家族等の安全が確保され次第出勤すること)

## 9 食料及び防災資機材等の備蓄

ラジオ(携帯充電可)、懐中電灯、電池、ヘルメット、軍手、非常用トイレ、トイレットペーパー、アルミマット、カセットコンロ、ガス、ランタン、ライター、救急用品、ビニール袋、紙パット、カイロ、タオル、ウエットティッシュ、マスク、米、非常食、非常水、ラップ、紙コップ、紙皿、割りばし、ガムテープ、紙、油性ペン